

PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構



No.39 2013年 9月

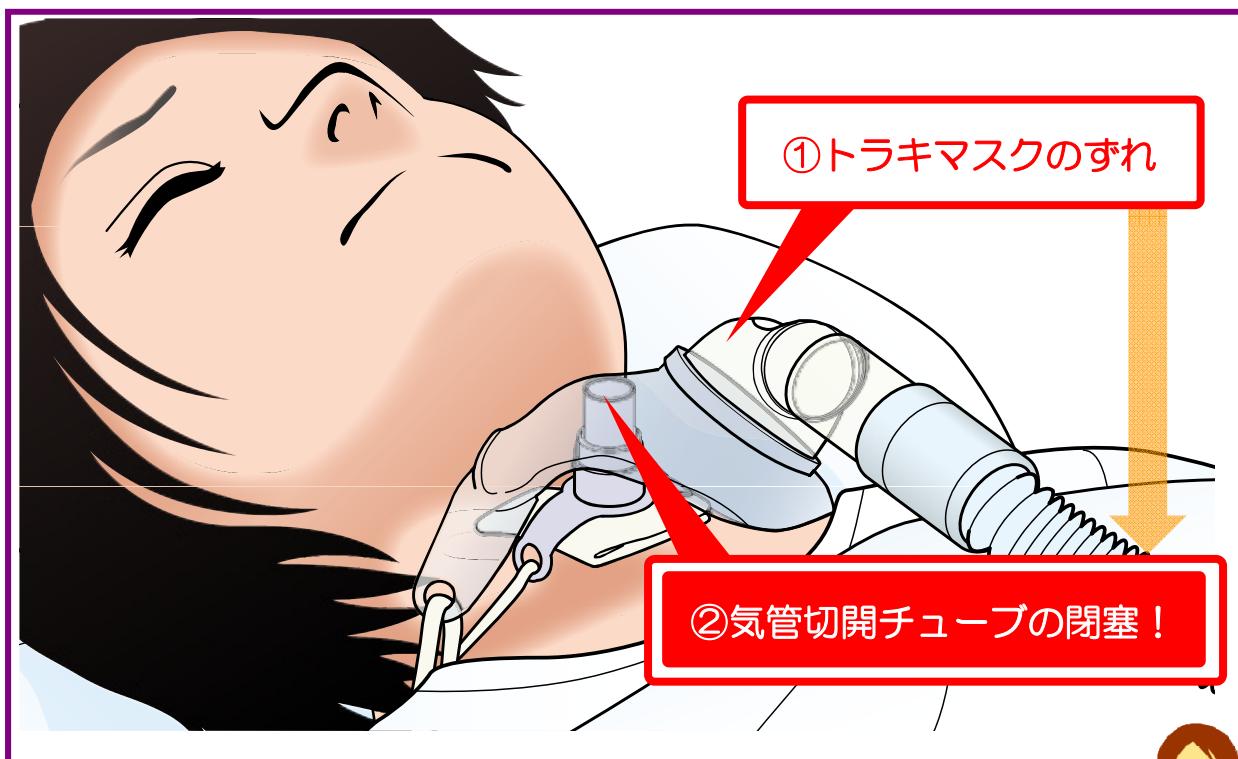
トラキマスク取扱い時の注意について

POINT 安全使用のために注意するポイント

(事例) 心電図モニタのアラームが鳴ったため訪室すると、トラキマスクがずれ、気管切開チューブを塞いでおり、患者は呼吸停止、チアノーゼ状態となっていた。

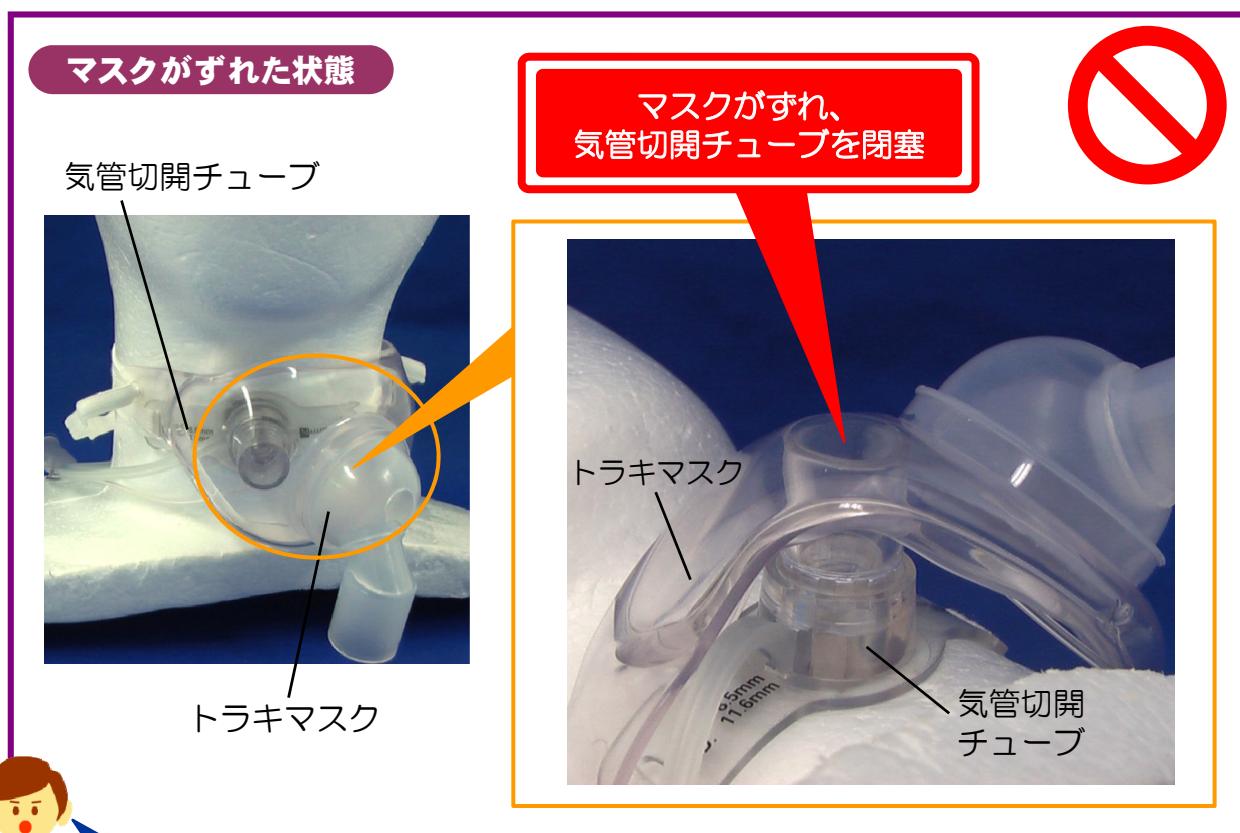
① トラキマスク使用時の注意点

- トラキマスク使用中は、装着状態(マスクのずれや固定の緩みなど)に注意すること。



患者さんの体動や固定の緩みなどから、**トラキマスクがずれ、気管切開チューブが閉塞すると、呼吸ができなくなります！**





予期せぬ気管切開チューブ閉塞のリスクを考慮して、トラキマスクの使用を検討してください！また、トラキマスク装着時には、患者さんの状態に応じて、生体情報モニタを併用しましょう。

トラキマスク製品の一例

(株) インターメドジャパン



エアゾールマスク
(気管切開マスクタイプ)

エム・シー・メディカル(株)



インターバージカル トランキマスク

日本メディカルネクスト(株)



トランキマスク

スミスメディカル・ジャパン(株)



PORTEX・トランキマスク



PORTEX・ベンチュリートランキマスク

(株) フジメディカル



酸素吸入用マスク
(トランキオストミーマスク)

この「PMDA医療安全情報No.39」に関連した通知が厚生労働省より出されています。

- 平成25年9月20日付 薬食機発0920第1号・薬食安発0920第5号 連名通知
「気管切開用マスクに係る使用上の注意の改訂について」

本通知については、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.info.pmda.go.jp>)

>医療機器関連情報>機器安全対策通知>使用上の注意の改訂指示通知に掲載しております。

本情報の留意点

- * このPMDA医療安全情報は、公益財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業報告書及び薬事法に基づく副作用・不具合報告において収集された事例の中などから、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が専門家の意見を参考に医薬品、医療機器の安全使用推進の観点から医療関係者により分かりやすい形で情報提供を行うものです。
- * この情報の作成に当たり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
- * この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではなく、あくまで医療従事者に対し、医薬品、医療機器の安全使用の推進を支援する情報として作成したものでです。